

岩手県感染症週報

平成16年第27週（6月28日～7月4日）

岩手県結核 感染症情報センター

第27週の概要

1類感染症

2類感染症

3類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

4類感染症

5類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（定点把握対象疾患）

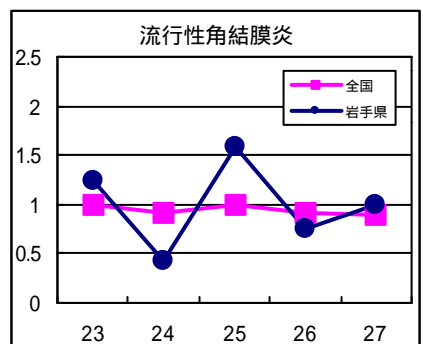
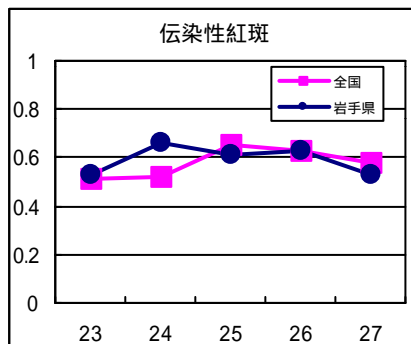
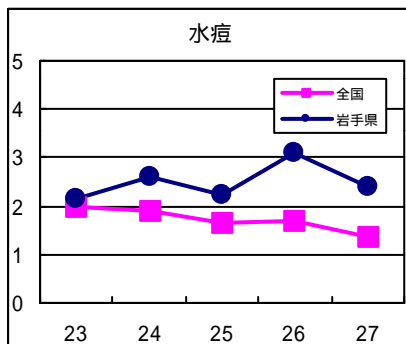
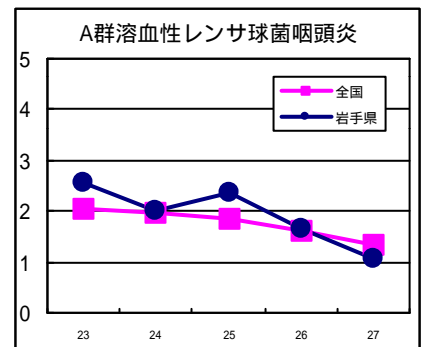
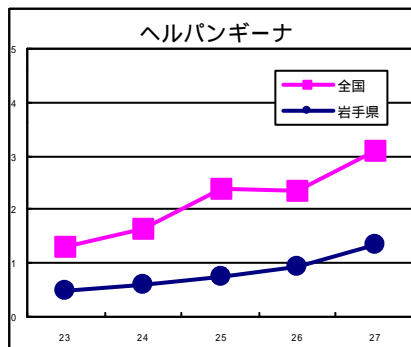
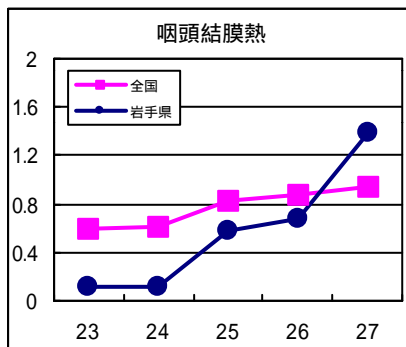
・全国的な流行となっている咽頭結膜熱はさらに患者数が増加し、県全体で定点当たり患者数1.4人となり、警報値（同1.0人）を超えています。前週まで患者数の多かった盛岡地区では定点当たり患者数が、3.4人とさらに増加しました。また、前週まで患者が少なかった久慈地区、水沢地区でも増加し、警報値を超えました。今後患者の増加が予想されますので注意が必要です。感染の予防には、手洗いやうがいをよくし、タオルの共用をしない等の注意が重要です。

・ヘルパンギーナは先週に引き続き大船渡、二戸地区で患者数が多くなっており、二戸地区では、警報値（定点当たり患者数6.0人）を超えています。また先週は患者数が少なかった久慈地区で増加しているため、注意が必要です。

・水痘は前週患者数が多かった花巻地区で患者が減少しました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		23	24	25	26	27		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0	0		
咽頭結膜熱	岩手県	0.11	0.11	0.58	0.68	1.39	↗	
	全国	0.6	0.61	0.83	0.87	0.95		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.55	2	2.37	1.66	1.05	↘	
	全国	2.03	1.98	1.85	1.62	1.33		
感染性胃腸炎	岩手県	2.79	1.76	1.71	2.05	1.82	→	
	全国	4.58	4.51	4.23	3.68	3.27		
水痘	岩手県	2.13	2.61	2.24	3.11	2.39	↘	
	全国	1.99	1.91	1.67	1.7	1.35		
手足口病	岩手県	0	0.13	0.03	0.11	0.11	→	
	全国	0.29	0.4	0.54	0.6	0.85		
伝染性紅斑	岩手県	0.53	0.66	0.61	0.63	0.53	→	
	全国	0.51	0.52	0.65	0.63	0.58		
突発性発疹	岩手県	0.58	0.42	0.55	0.66	0.58	→	
	全国	0.75	0.76	0.84	0.79	0.85		
百日咳	岩手県	0.03	0.08	0	0	0.03	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
風疹	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.05	0.05	0.03	0.03	0.03		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.47	0.61	0.76	0.95	1.34	↗	
	全国	1.31	1.66	2.38	2.34	3.11		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.53	0.66	0.5	0.82	0.63	→	
	全国	0.99	0.94	0.91	1.05	1.02		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.03	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	1.25	0.42	1.58	0.75	1	→	
	全国	0.99	0.91	0.99	0.92	0.9		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	21	31	17		0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.05	0.04	0.04	0.07		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.45	0.25	0.25	0.45	0.4	→	
	全国	0.26	0.3	0.31	0.22	0.24		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		（患者発生数）							
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 23	24	25	26	27	累計	27	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	1	0	1	4	26
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	3	5	234
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	31
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	42
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	2	0	5	99	961
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	5	291
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	17
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	27
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	2	148
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	3	82
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	37
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	10	515
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	2	2	39
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	16
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	5
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	1	93
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	8
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	15
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	5	248
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	41
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	27
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	27
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2	
レジオネラ症	0	0	0	1	0	1	1	64	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

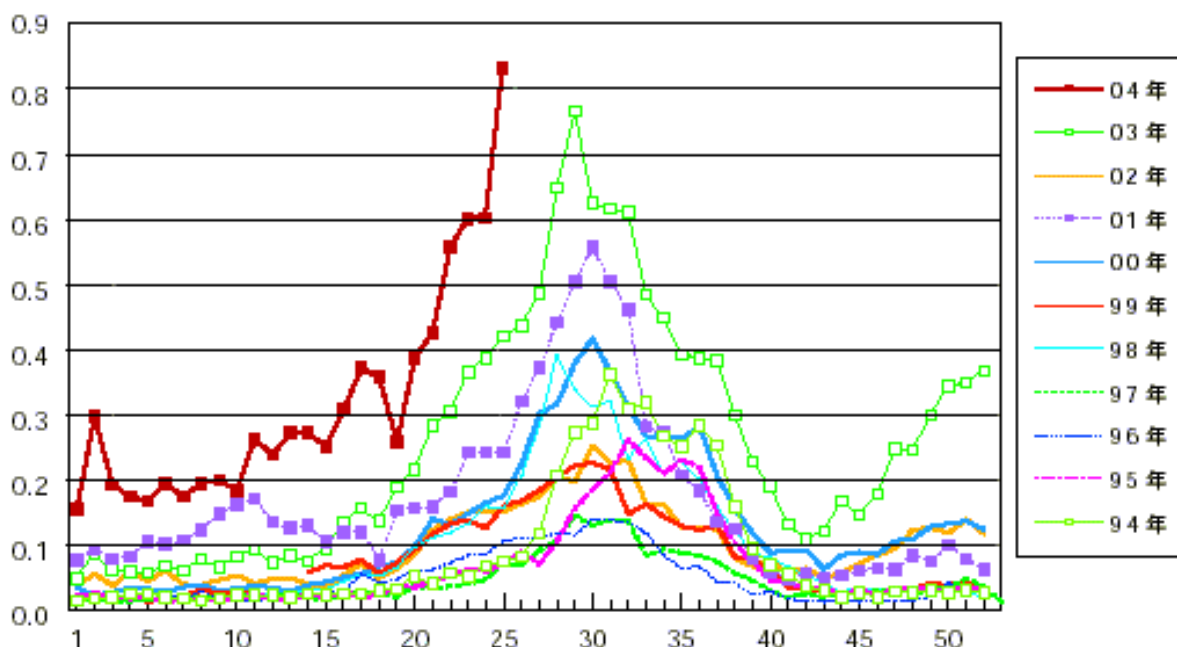
今注目の感染症

咽頭結膜熱

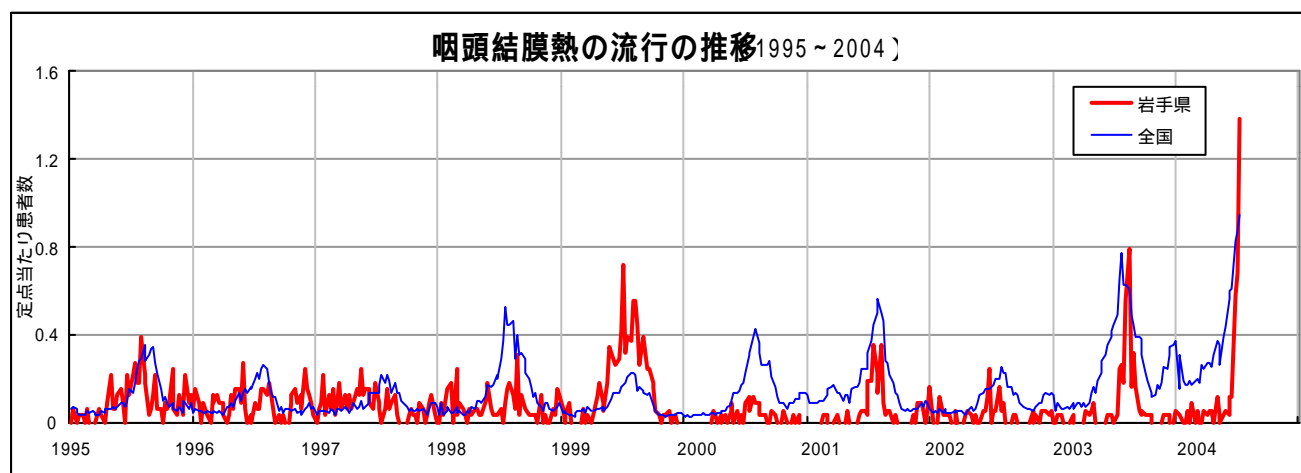
2004年の咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、過去10年間でも最も多かった昨年と比較しても、さらに多い状態で推移している。第25週では、過去10年間の全ての週と比較して最高値となった（図）。第25週に報告数の多かった都道府県は、富山県（2.1）、宮崎県（1.8）、島根県（1.7）、石川県（1.6）で、本年の累積定点当たり報告数が多いのは、宮崎県（28.4）、富山県（20.6）、福井県（19.0）である。

本疾患はアデノウイルスによる感染症で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする。プールでの感染もみられることからプール熱とも呼ばれる。夏季に流行する疾患であるが、2000年以降には、それ以前にはなかった冬季での増加傾向が見られ、特に昨年から本年にかけてその傾向が顕著であった。罹患年齢は従来から学童年齢が主とされるが、感染症発生動向調査による本年25週までの累積報告患者を年齢群別にみると、1～5歳の各年齢がそれぞれ13～16%で、5歳以下が全体の約80%を占めている。

咽頭結膜熱の流行の推移（全国）



（以上、IDWR2004年第25週から抜粋）



病原体検出情報

- ・急性上気道炎の患者の咽頭拭い液からアデノウイルス3型を1例分離検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液からアデノウイルス37型を1例分離検出しました。

集団感染情報

この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

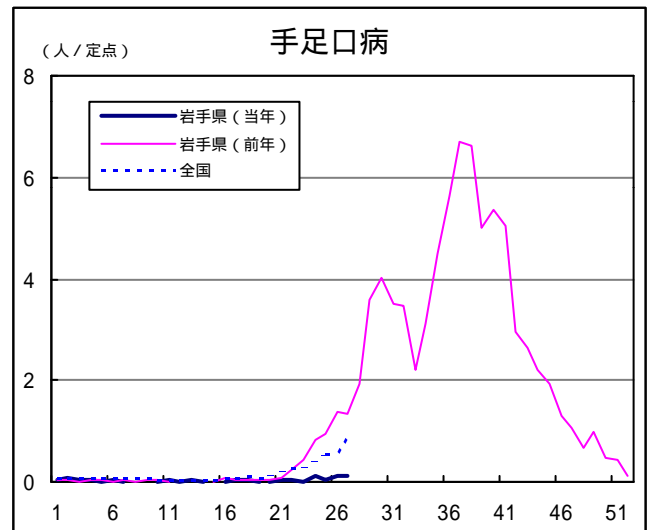
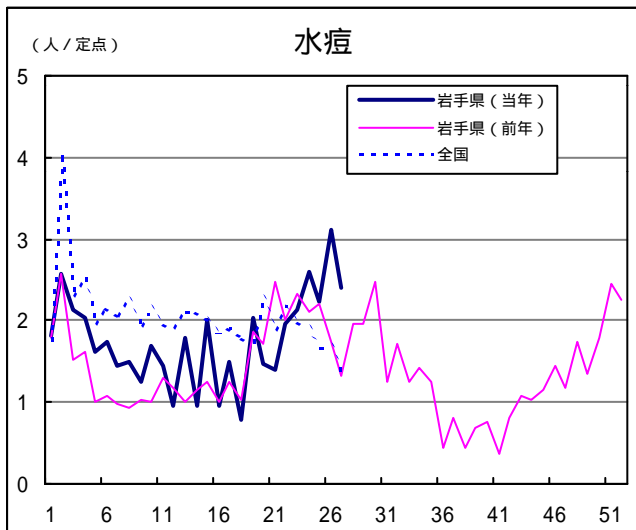
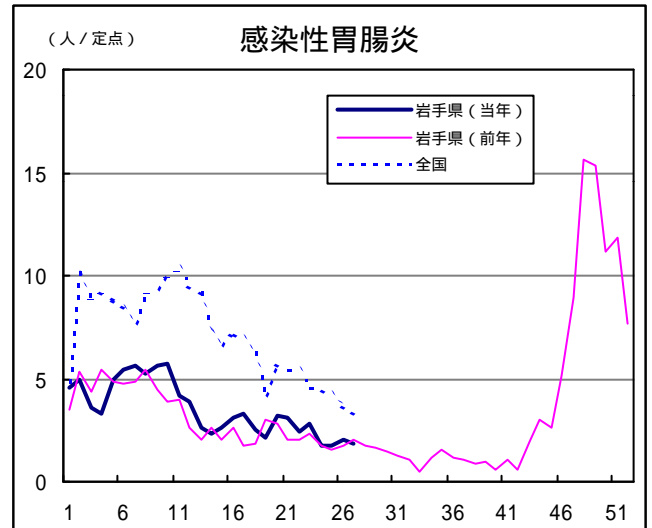
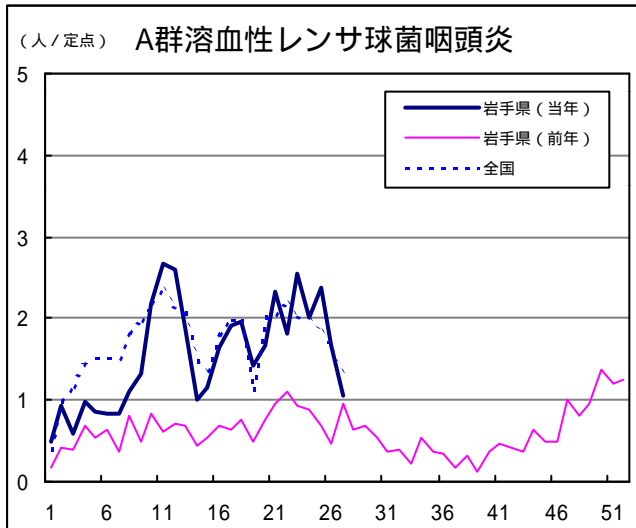
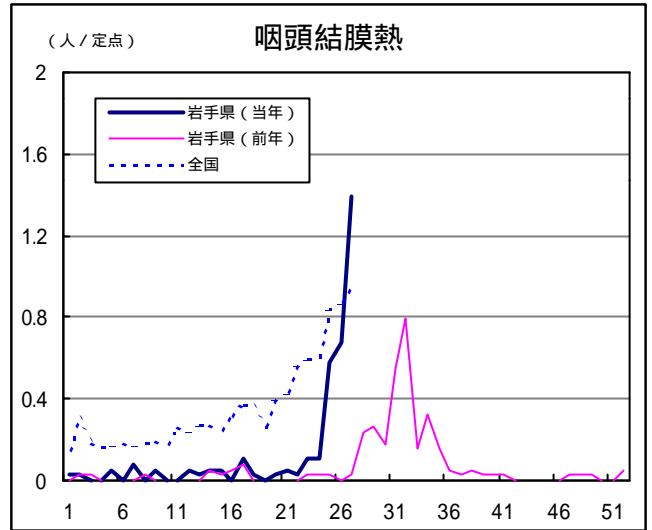
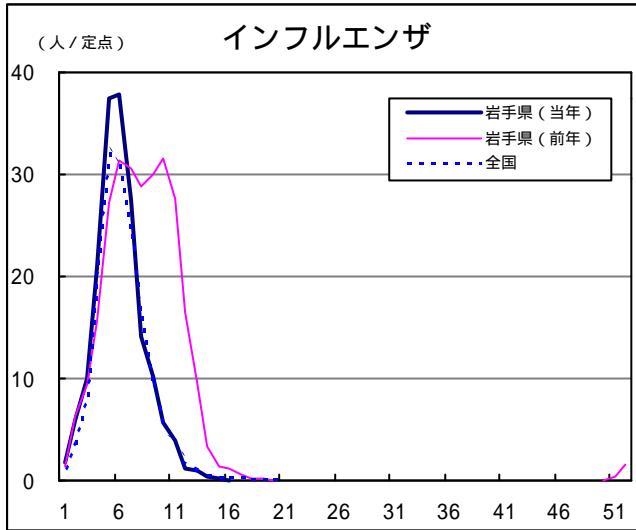
盛岡地区の医療機関（小児科）から
・咽頭結膜熱以外のアデノウイルス感染症も流行しているようです。高熱、咽頭炎等の症状がある場合、アデノウイルス迅速診断キットで約半数が陽性です。腹痛や下痢を伴うことも多く見受けられます。

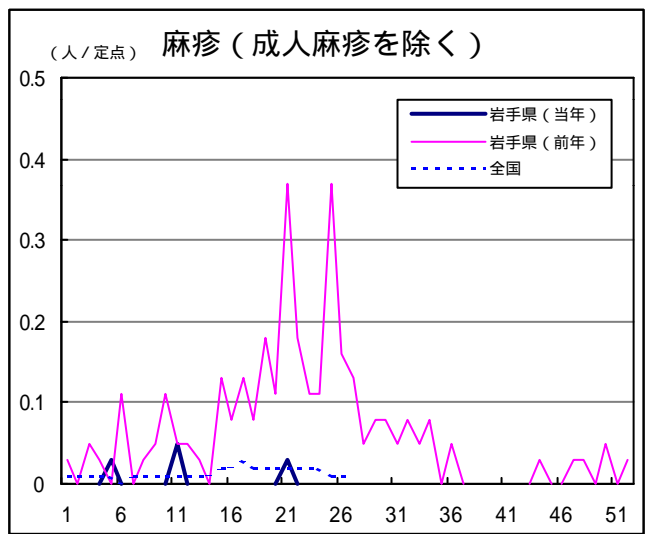
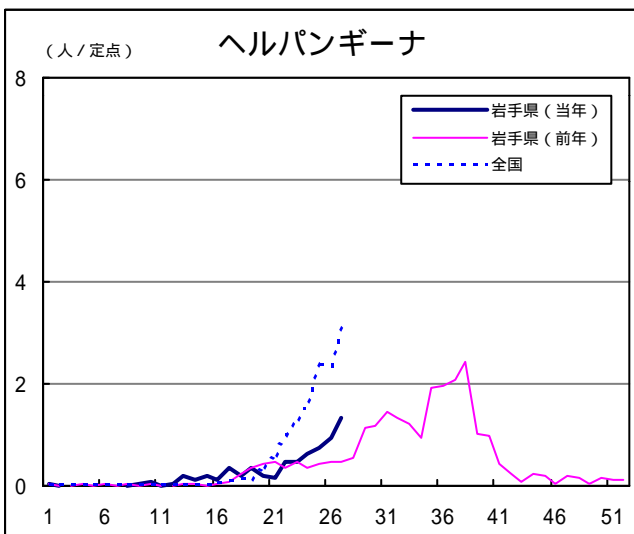
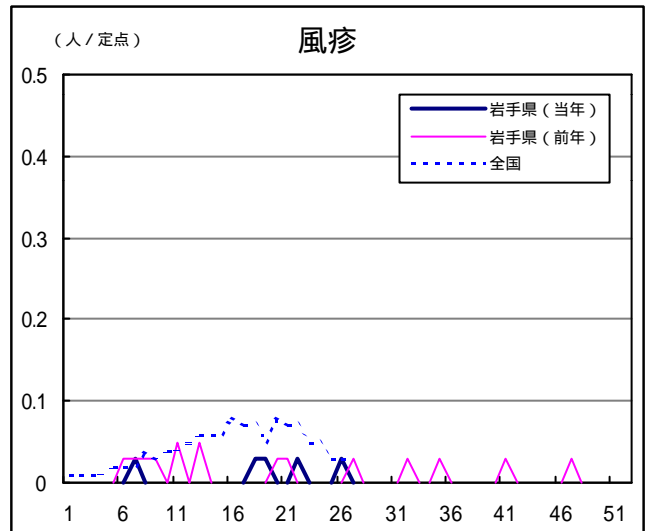
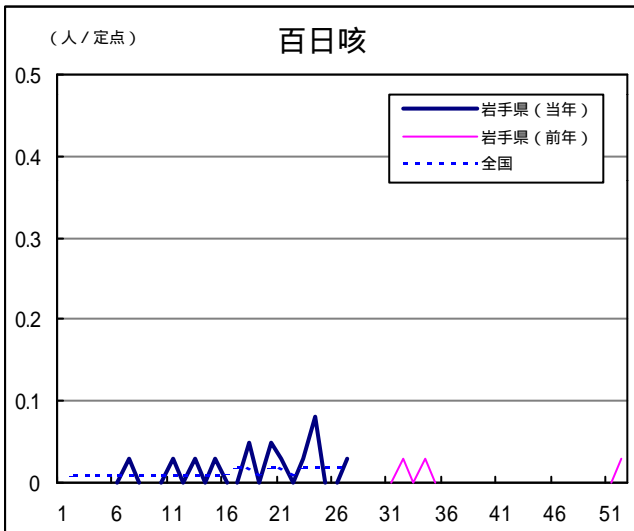
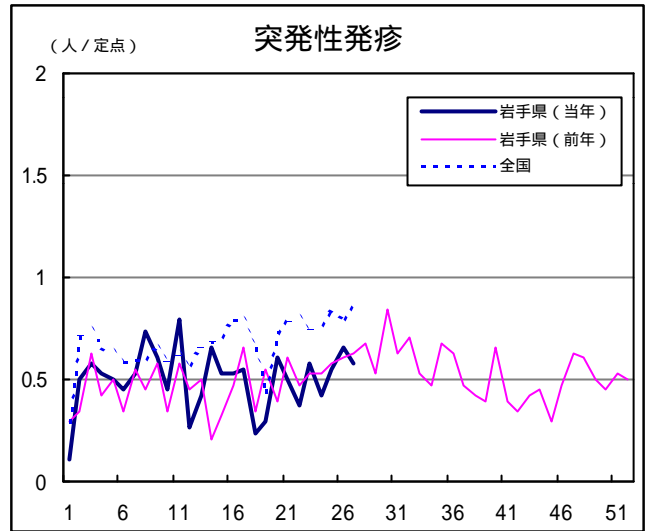
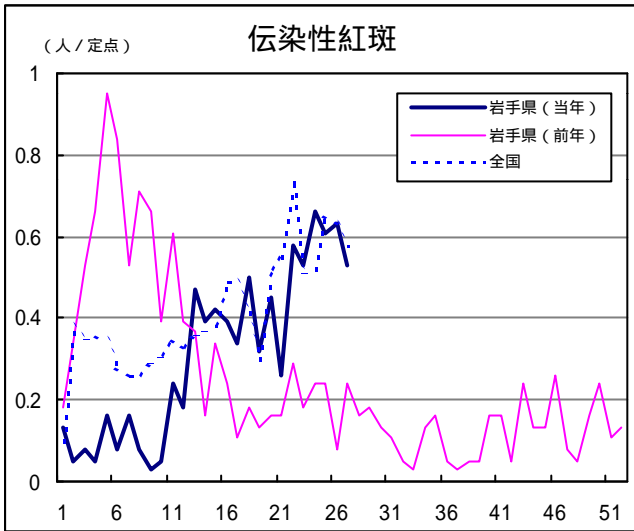
Q & A

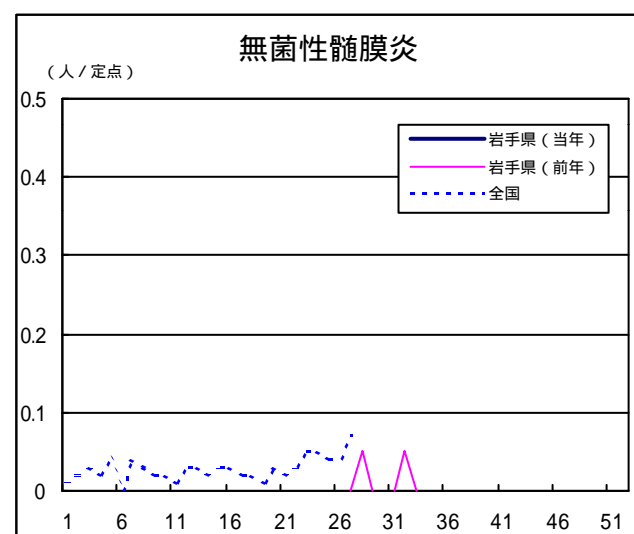
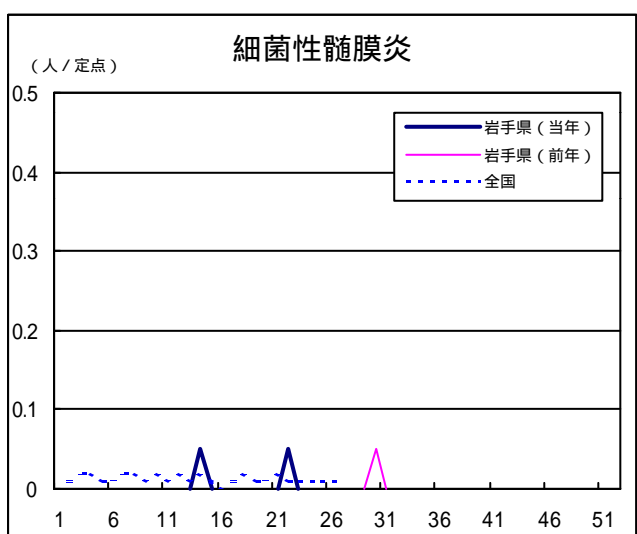
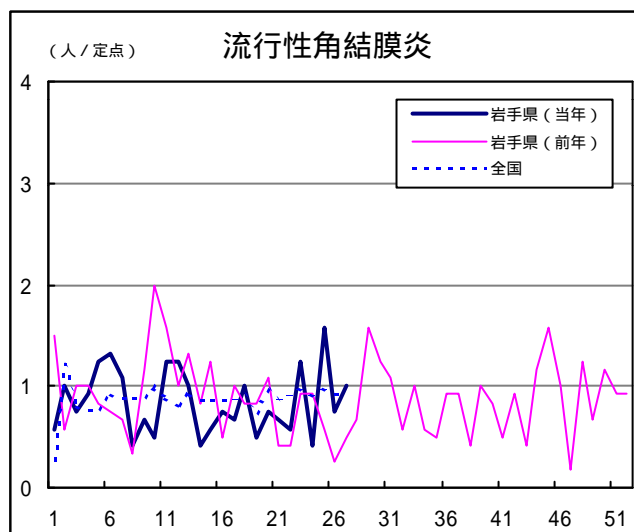
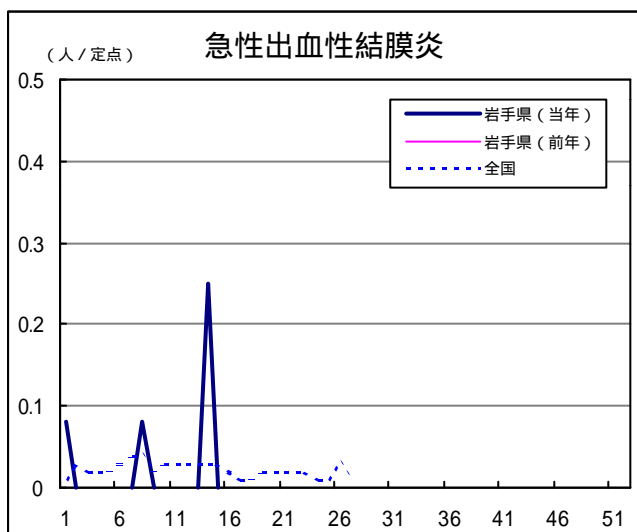
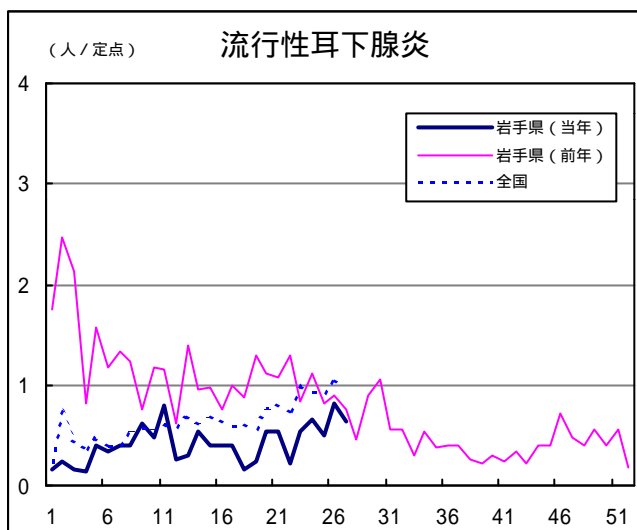
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

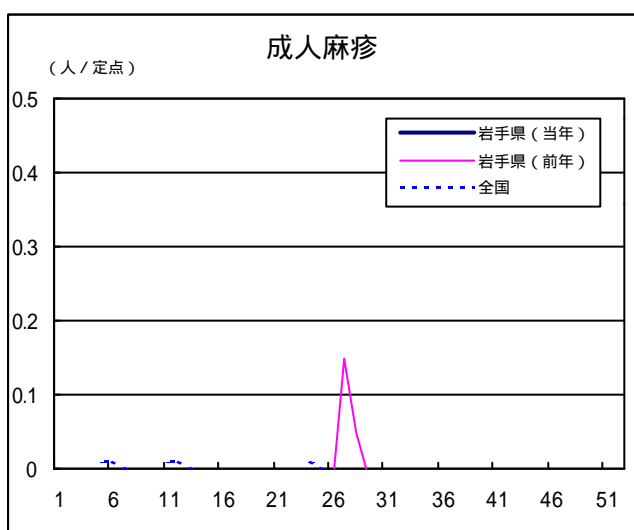
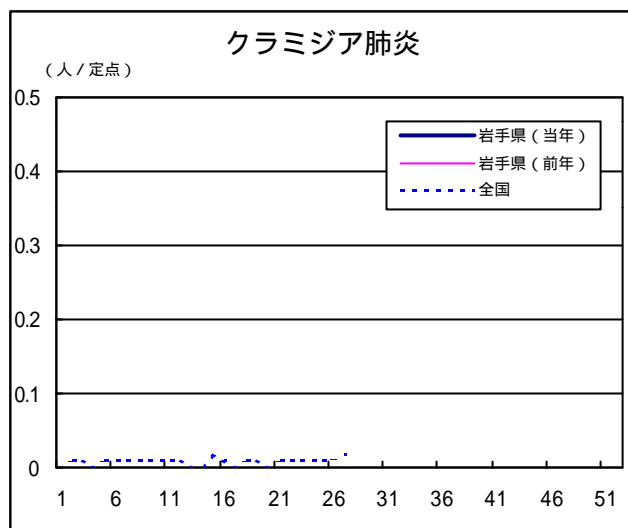
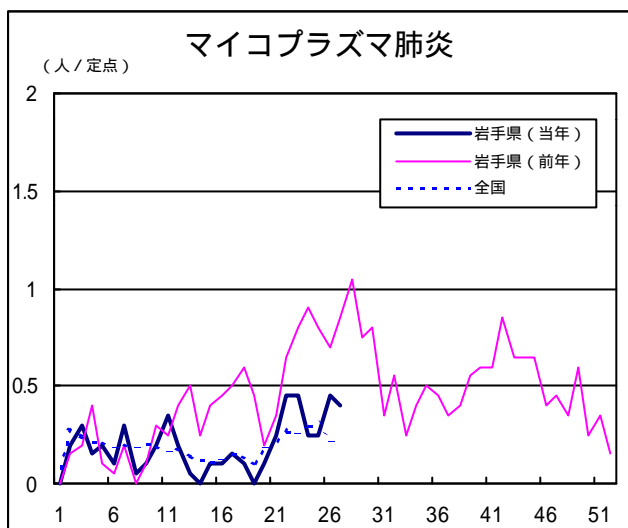
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成16年第27週 平成16年7月9日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>